

2004 (H16) 年 4 月～2005 (H17) 年 3 月

I. 著 書

【欧文著書】

ナ シ

【和文著書】

- 1) 貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎
神崎 保
皮膚疾患最新の治療 2005-2006 (2004)
- 2) 【プライマリケア医が知っておきたい皮膚病診療のコツ】
Q&A ステロイド外用剤の(ランク別)使い方と副作用を教えてください
内宮礼嗣、金蔵拓郎
治療 86 (12) : 3228-3229 (2004.12)
- 3) 成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATLL)
金蔵拓郎
皮膚疾患最新の治療 2005-2006 (2005)

Ⅱ. 総 説

【欧文総説】

ナ シ

【和文総説】

1) Münchhausen syndrome

島田祥子、神崎 保

最新皮膚科学大系 特別巻2【皮膚科症候群】：238～239（2004.7）

Ⅲ. 原 著

【欧文原著】

- 1) Neurologic manifestations of Kanzaki disease.
Umehara F, Matsumuro K, Kurono Y, Arimura K, Osame M, Kanzaki T.
Neurology. 62(9) : 1604-1606 (2004.5)
- 2) Expression of cholesterol sulfotransferase (SULT2B1b) in human skin and primary cultures of human epidermal keratinocytes.
Higashi Y, Fuda H, Yanai H, Lee Y, Fukushige T, Kanzaki T, Strott CA.
J. Invest. Dermatol. 122(5) : 1207-1213 (2004.5)
- 3) Skin disorders with prominent eosinophilic infiltration treated successfully with nicotine. Report of two cases.
Kanekura T, Usuki K, Kanzaki T.
Dermatology. 208(2) : 153-157 (2004.6)
- 4) Improvement of adult Still's disease with granulocyte and monocyte adsorption apheresis.
Kanekura T, Terasaki K, Higashi Y, Yoshii N, Kawahara K, Maruyama I, Kanzaki T.
Clin. Exp. Dermatol. 29(4) : 410-412 (2004.7)
- 5) Negative feedback regulation of phosphatidylinositol 3-kinase/Akt pathway by over-expressed cyclooxygenase-2 in human epidermal cancer cells.
Takeda K, Kanekura T, Kanzaki T.
J. Dermatol. 31(7) : 516-523 (2004.7)
- 6) The detection of IgG and IgA autoantibodies to desmocollins 1-3 by enzyme-linked immunosorbent assays using baculovirus-expressed proteins, in atypical pemphigus but not in typical pemphigus.
Hisamatsu Y, Amagai M, Garrod DR, Kanzaki T, Hashimoto T.
Br. J. Dermatol. 151(1) : 73-83 (2004.7)
- 7) Treatment of Behcet's disease with granulocyte and monocyte adsorption apheresis.
Kanekura T, Gushi A, Iwata M, Fukumaru S, Sakamoto R, Kawahara K, Maruyama I, Kanzaki T.
J. Am. Acad. Dermatol. 51(2 Suppl) : S83-87 (2004.8)
- 8) The histopathological basis for employing the reused skin graft technique for chronic perianal pyoderma.
Matsushita S, Ishihara T, Masuguchi S, Gyoutoku T, Ono T.
Plast. Reconstr. Surg. 114(3) : 833-835 (2004.9)

- 9) Syringocystadenoma papilliferum: report of the first case on the lower leg.
Yoshii N, Kanekura T, Setoyama M, Kanzaki T.
J. Dermatol. 31(11) : 939-942 (2004.11)
- 10) β -mannosidosis with angiokeratoma corporis diffusum.
Suzuki N, Konohana I, Fukushige T, Kanzaki T.
J. Dermatol. 31(11) : 931-935 (2004.11)
- 11) Clinical, biochemical, and cytochemical studies on a Japanese Salla disease case associated with a renal disorder.
Ishiwari K, Kotani M, Suzuki M, Pumbo E, Suzuki A, Kobayashi T, Ueno T, Fukushige T, Kanzaki T, Imada M, Itoh K, Akioka S, Tajima Y, Sakuraba H.
J. Hum. Genet. 49(12) : 656-663 (2004.12)
- 12) Three dimensional structural studies of alpha-N-acetylgalactosaminidase (alpha-NAGA) in alpha-NAGA deficiency (Kanzaki disease): different gene mutations cause peculiar structural changes in alpha-NAGAs resulting in different substrate specificities and clinical phenotypes.
Kanekura T, Sakuraba H, Matsuzawa F, Aikawa S, Doi H, Hirabayashi Y, Yoshii N, Fukushige T, Kanzaki T.
J. Dermatol. Sci. 37(1) : 15-20 (2005.1)
- 13) Immunohistochemical studies comparing the localization of type XV collagen in normal human skin and skin tumors with that of type IV collagen.
Fukushige T, Kanekura T, Ohuchi E, Shinya T, Kanzaki T.
J. Dermatol. 32(2) : 74-83 (2005.2)
- 14) Blood group A glycosphingolipid accumulation in the hair of patients with alpha-N-acetylgalactosaminidase deficiency.
Kimura A, Kanekura T, Saito Y, Sagawa K, Nosaka M, Kanzaki T, Tsuji T.
Life Sci. 76(16) : 1817-1824 (2005.3)

【和文原著】

- 1) 全国8大学皮膚科の共同による皮膚癌の発症因子と予防因子の症例対照研究及び皮膚癌検診10年間の結果
尾藤利憲、市橋正光、神保孝一、金子史男、斎藤俊明、大塚藤男、石川 治、瀬戸山充、神崎 保
太陽紫外線防御研究委員会学術報告 14(1) : 13-19 (2004. 10)
- 2) タクロリムス外用が著効した口唇・口腔粘膜扁平苔癬の3例
坂元亮子、具志 亮、金蔵拓郎、神崎 保
西日本皮膚科 66 (5) : 454-457 (2004. 10)

- 3) 健常人、悪性黒色腫および成人 T 細胞白血病患者に対するヨクイニンの効果—NK 活性と IFN- γ の変動—
神崎 保、溝口志真子
西日本皮膚科 66 (5) : 490-493 (2004. 10)
- 4) 【指の腫瘍性疾患】臨床例 神経鞘腫
植木ゆり、島田英彦、金蔵拓郎、神崎 保
皮膚病診療 26 (12) : 1541-1542 (2004. 12)
- 5) 成人における臍帯血移植
宇都宮 與、米倉健太郎
血液腫瘍科 50 (2) : 166-173 (2005. 2)
- 6) 表皮ケラチノサイトの分化と Cholesterol Sulfotransferase (SULT2B1b)
東 裕子、福重智子、神崎 保
第 19 回角化症研究会記録集 23-25 (2005. 3)

IV. その他

- 1) リソソーム蓄積症（内科と皮膚科の間）
神崎 保
奈良県皮膚科医部会誌（2004）
- 2) タイにおける人材育成機関（Diploma Course of Dermatology）
神崎 保
JICA 連絡会誌（2004）
- 3) 平成 15 年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会（報告）
神崎 保
鹿児島県医師会報（2004）
- 4) 編集後記
神崎 保
鹿児島県医師会報（2004）
- 5) 内臓疾患と皮膚病変
神崎 保
川内医師会報（2004）
- 6) 国際貢献
神崎 保
鹿児島県医師会報（県医ロビー）（2005）
- 7) Diploma Course of Dermatology (Medicine) in Bangkok, Thailand
神崎 保
Kagoshima University Newsletter（2005）
- 8) 胃癌は骨髄から発生する!?
神崎 保
鹿児島県医師会報（2005）
- 9) 編集後記
神崎 保
鹿児島県医師会報（2005）
- 10) 歯科金属とアレルギー —パッチテストの有用性—
持富勇次
鹿児島県歯科医師会会報（2005）

V. 学会発表

【国際・特別（招請）講演】

- 1) Lysosomal storage diseases.

Kanzaki T.

31th Annual Meeting of Society for Cutaneous Ultrastructural Research
(SCUR) Joint Meeting European Society of Dermatopathology (ESDP)

May 6-8, 2003 Rome, Italy

- 2) Kanzaki disease.

Kanzaki T.

33rd Annual Meeting of Comparative Pathology

March 12, 2005 Taipei, Taiwan

【国際・シンポジウム】

ナ シ

【国際・ワークショップ】

ナ シ

【国際・セミナー】

- 1) Kanzaki disease.

Kanzaki T.

中興大学獣医大学院 Seminar

March 10, 2005 Taipei, Taiwan

【国際・一般演題】

- 1) Cholesterol sulfotransferase (SULT2B1b) is a late marker of human keratinocyte differentiation.

Higashi Y, Fukushima T, Kanzaki T, Charles A. Strott

The 65th Meeting of the Society for Investigative Dermatology

April 28-May 1, 2004 Providence, Rhode Island

- 2) Negative feedback regulation of phosphatidylinositol 3-kinase/Akt pathway by over-expressed cyclooxygenase-2 in human epidermal cancer cells.

Takeda K, Kanekura T, Kanzaki T.

The 65th Meeting of the Society for Investigative Dermatology

April 28-May 1, 2004 Providence, Rhode Island

- 3) Livedo reticularis presented as a manifestation of adult T-cell leukemia/
lymphoma.
Kawabata H, Uchimiya H, Kanekura T, Kanzaki T.
The 8th China-Japan Joint Meeting of Dermatology
November 12-14, 2003 Kunming, China
- 4) Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for skin disorders attributable to
activated granulocytes.
Kanekura T, Maruyama I, Kanzaki T.
63rd Annual Meeting of American Academy of Dermatology
February 18-20, 2005 New Orleans, Louisiana, U.S.A.

【国内・特別（招請）講演】

- 1) 神崎病の発見とその後の展開
神崎 保（鹿児島大学大学院皮膚疾患学）
第 11 回鹿児島地区皮膚アレルギー研究会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島

【国内・一般講演】

- 1) “ムツウサ”のお茶が体に良いのはナンデダロウ？
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚疾患学）
第 3 回地域資源を活かしたしま興し講演会
2004 年 10 月 9 日 宮古島

【国内・教育講演】

- 1) 内臓疾患と皮膚病変
神崎 保
川内市医師会
2004 年 4 月 16 日 川内
- 2) アトピー性皮膚炎と接触皮膚炎の接点
神崎 保
熊本皮膚科医部会
2004 年 5 月 20 日 熊本
- 3) 顆粒球吸着除去療法（GCAP）の皮膚疾患への応用
金蔵拓郎
日本抗体研究所社内講演会
2004 年 7 月 5 日 高崎

- 4) 実際の診療に役立つ皮膚科の知識
神崎 保
沖永良部医師会
2004年9月10日 和泊
- 5) 白い粘膜は病気のしるし
神崎 保
第4回医歯系連携セミナー
2004年11月25日 鹿児島
- 6) ベーチェット病 —新たな治療の試み—
金蔵拓郎
第4回医歯系連携セミナー
2004年11月25日 鹿児島
- 7) 天疱瘡 —皮膚と粘膜の自己免疫疾患—
東 裕子
第4回医歯系連携セミナー
2004年11月25日 鹿児島
- 8) 歯科金属と金属アレルギー —パッチテストの方法と判定法—
持富勇次
第4回医歯系連携セミナー
2004年11月25日 鹿児島
- 9) 外用療法と創傷被覆剤について
内宮礼嗣
病棟看護師勉強会
2004年6月23日 鹿児島
- 10) アレルギー外来
持富勇次
病棟看護師勉強会
2004年6月30日 鹿児島
- 11) 皮膚疾患に対するニコチンとアダカラム
金蔵拓郎
病棟看護師勉強会
2005年1月13日 鹿児島

【国内・シンポジウム】

- 1) 壊疽性膿皮症に対する顆粒球吸着除去療法の治療効果

金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)

第 24 回日本アファレシス学会学術大会

2004 年 11 月 19～20 日 千葉

【国内・ワークショップ】

ナ シ

【国内・セミナー】

ナ シ

【国内・一般演題】

- 1) ヒト表皮癌細胞において COX-2 発現は、PI3kinase/Akt 経路を negative feedback 機構を介して抑制する

武田浩一郎、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)

日本研究皮膚科学会第 29 回年次学術大会・総会

2004 年 4 月 14～16 日 京都

- 2) 先天性血管拡張症の女性例

前田 学¹、永井美貴¹、藤沢智美¹、福重智子²、神崎 保² (¹県立
岐阜病院皮膚科、²鹿児島大学大学院皮膚疾患学)

第 103 回日本皮膚科学会総会

2004 年 4 月 16～18 日 京都

- 3) 多剤併用化学療法が著効した乳房外 Paget 癌の 1 例

坂元亮子、福丸聖太、米良健太郎、橋口貴樹、具志 亮、寺崎健治朗、
金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)

第 103 回日本皮膚科学会総会

2004 年 4 月 16～18 日 京都

- 4) Seborrheic keratosis と Bowen 病を同一病巣に見た 1 例

米良健太郎¹、橋口貴樹¹、寺崎健治朗¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、
内宮禮一郎² (¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²鹿児島市)

第 103 回日本皮膚科学会総会

2004 年 4 月 16～18 日 京都

- 5) 小児に発生した水疱を伴う単発性色素性蕁麻疹の2例
阿座上和子、金蔵拓郎、具志 亮、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚
疾患学)
第103回日本皮膚科学会総会
2004年4月16~18日 京都
- 6) Acantholysisを呈したポーエン病の1例
吉福明日香¹、具志 亮¹、坂元亮子¹、福丸聖太¹、金蔵拓郎¹、
神崎 保¹、米良修二² (¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²鹿児島市)
第103回日本皮膚科学会総会
2004年4月16~18日 京都
- 7) 鹿児島大学医学部皮膚科外来患者統計 (2003年1~12月)
大山公崇¹、具志 亮¹、藤元静代¹、米倉健太郎¹、馬場千晶¹、
猿渡 浩¹、武田浩一郎¹、橋口貴樹¹、持富勇次¹、福丸聖太¹、
神田 彰¹、寺崎健治朗¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、島田辰彦²、
四本信一²、米良ゆかり¹、川畑 久³、穂積秀樹⁴、内野ゆり⁵
(¹鹿児島大、²鹿児島市、³藤元早鈴病院、⁴人吉市、⁵春陽会中央病院)
第136回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004年4月25日 鹿児島
- 8) 2003年鹿大病院皮膚科への紹介患者統計
藤元静代¹、大山公崇¹、具志 亮¹、神田 彰¹、寺崎健治朗¹、
金蔵拓郎¹、神崎 保¹、四本信一² (¹鹿児島大、²鹿児島市)
第136回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004年4月25日 鹿児島
- 9) 2003年鹿大入院患者統計
川村絵里奈¹、具志 亮¹、神田 彰¹、福丸聖太¹、穂積秀樹²、
川畑 久³、持富勇次¹、橋口貴樹⁴、米倉健太郎¹、岩田政宏¹、
大山公崇¹、中村郁代¹、吉田延代¹、吉福明日香¹、阿座上和子¹、
坂元亮子¹、藤元静代¹、米良健太郎¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹
(¹鹿児島大、²人吉市、³藤元早鈴病院、⁴県立大島病院)
第136回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004年4月25日 鹿児島
- 10) 2003年鹿大皮膚科死亡患者統計
米倉健太郎、福丸聖太、坂元亮子、大山公崇、金蔵拓郎、神崎 保
(鹿児島大)
第136回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004年4月25日 鹿児島

- 11) 2003 年鹿児島大学病院皮膚科手術患者統計
吉田延代¹、具志 亮¹、神田 彰¹、福丸聖太¹、穂積秀樹²、
川畑 久³、持富勇次¹、橋口貴樹⁴、馬場千晶¹、米良ゆかり¹、
米倉健太郎¹、岩田政宏¹、大山公崇¹、川村絵里奈¹、中村郁代¹、
吉福明日香¹、阿座上和子¹、坂元亮子¹、米良健太郎¹、寺崎健治朗¹、
金蔵拓郎¹、神崎 保¹、松下茂人⁵、内宮礼嗣¹
(¹鹿児島大、²人吉市、³藤元早鈴病院、⁴県立大島病院、⁵佐賀大学形成
外科)
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 12) 2003 年の外来パッチテスト患者の統計結果
持富勇次、寺崎健治朗、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大)
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 13) 頸部に生じた血栓性静脈炎の一例
米良健太郎、持富勇次、寺崎健治朗、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大)
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 14) 膝全摘術後に発症した腸性肢端皮膚炎の一例
米良ゆかり¹、児浦純義(生)¹、橋口貴樹²、米良健太郎²、神崎 保²
(¹今給黎総合病院、²鹿児島大)
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 15) 【スライド供覧】
吉井典子¹、金蔵拓郎¹、川野弘人²、亀澤 孝²、神崎 保¹
(¹鹿児島大、²藤元早鈴病院脳神経外科)
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 16) 済生会川内病院への出向を終えて
内宮礼嗣 (鹿児島大)
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島

- 17) 高熱、咽頭痛を伴った蕁麻疹
三好逸男（鹿児島市立病院）
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 18) 診断に苦慮した右側頭部血管肉腫の一例
阿座上和子¹、武田浩一郎¹、三好逸男¹、新山孝二²（¹鹿児島市立病院、²東市来町）
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 19) 皮膚 T 細胞リンパ腫に合併した B 細胞性慢性リンパ性白血病
米倉健太郎¹、宇都宮 與²、魚住公治³、蓮井和久⁴、神崎 保¹
（¹鹿児島大、²今村病院分院血液内科、³鹿児島大血液膠原病内科、⁴鹿児島大細胞生物構造学分野）
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 20) =保険診療= 審査の現場で思うこと（国保審査の現場から 3）
金蔵拓郎（鹿児島大）
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 21) 平成 16 年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感觉器病学講座皮膚疾患学教室の体制
寺崎健治朗（鹿児島大）
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 22) 第 103 回日皮学術大会・総会の報告
神崎 保（鹿児島大）
第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2004 年 4 月 25 日 鹿児島
- 23) 膿疱性乾癬の経過中に発生した Bowen 病の 1 例
米良健太郎、持富勇次、金蔵拓郎、神崎 保（鹿児島大学大学院皮膚疾患学）
第 20 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2004 年 5 月 14～15 日 熊本

- 24) 成人 T 細胞白血病 (ATL) に対する同種造血幹細胞移植後の皮膚再発において、GV-ATL 効果の確認された 4 例
米倉健太郎¹、武元良整²、岩田政宏²、吉福明日香¹、馬場千晶¹、
小濱浩介²、高塚祥芝²、神崎 保¹、宇都宮 與² (¹ 鹿児島大学大学院
皮膚疾患学、² 今村病院分院血液内科)
第 20 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2004 年 5 月 14~15 日 熊本
- 25) Verruciform Xanthoma の 2 例
川村絵里奈、内宮礼嗣、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
小野友道教授退官記念日本皮膚科学会臨時熊本地方会
2004 年 6 月 12~13 日 熊本
- 26) 難治性皮膚疾患に対する顆粒球吸着除去療法の治療効果
金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第 4 回九州白血球除去療法研究会
2004 年 6 月 19 日 福岡
- 27) 同種造血幹細胞移植後の皮膚再発において急性 GVHD の発症後に GV-ATL
効果の確認された ATL4 例
宇都宮 與¹、米倉健太郎²、岩田政宏¹、隈元 亮¹、小濱浩介¹、
高塚祥芝¹、田代幸恵³、神崎 保²、岡村 純⁴、武元良整¹ (¹ 今村
病院分院血液内科、² 鹿児島大学大学院皮膚疾患学、³ 今給黎総合病院
病理部、⁴ 九州がんセンター臨床研究部)
リンパ系樹状細胞系 3 学会合同学術京都大会 (第 44 回日本リンパ
網内系学会学術総会・第 15 回日本樹状細胞研究会・第 7 回日本血液
病理研究会)
2004 年 7 月 14~16 日 京都
- 28) 興味ある症例の紹介 (インフルエンザ後に自然消失した尋常性乾癬)
神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第 8 回鹿児島皮膚疾患の治療を語る会
2004 年 6 月 24 日 鹿児島
- 29) Microdissection Technique (Kimura) を用いた口腔内への遊離皮弁移植
の意義
松下茂人他
第 66 回日本形成外科学会九州地方会
2004 年 7 月 10 日 福岡

- 30) シンビジューム、オンシジュームによる接触皮膚炎の一例
岩田政宏¹、持富勇次¹、具志 亮¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、
米良修二² (¹鹿児島大、²鹿児島市)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市
- 31) メキシチール[®]による蕁疹後に皮膚筋炎様の症状を呈した一例
吉井典子 (県立大島病院)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市
- 32) HHV-6、HHV-7によるDHIS
阿座上和子、武田浩一郎、三好逸男 (鹿児島市立病院)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市
- 33) 臍部に生じた異所性子宮内膜症の一例
大山公崇¹、寺崎健治朗¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、内宮礼嗣²
(¹鹿児島大、²済生会川内病院)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市
- 34) 石灰化上皮腫の多発例
内宮礼嗣¹、具志明代¹、福丸聖太²、具志 亮² (¹済生会川内病院、
²鹿児島大)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市
- 35) 表皮における cholesterol sulfotransferase (SULT2B1b)の発現
東 裕子、福重智子、神崎 保 (鹿児島大)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市
- 36) A Case of Intramuscular Haemangioma with Calcification
Faith C Muchemwa¹、石原 剛¹、松下茂人² (¹熊本大形成外科、
²佐賀大形成外科)
第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
2004年7月10～11日 鹿児島市

- 37) 口唇部悪性黒子切除後再建における transverse twist flap の試み
 松下茂人¹、上村哲司¹、田邊 毅¹、雑賀厚臣¹、吉丸知歩¹、
 三砂範幸² (¹佐賀大形成外科、²同皮膚科)
 第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
 2004年7月10~11日 鹿児島市
- 38) 化学療法が奏効した乳房外 Paget 病の一例
 持富勇次¹、具志 亮¹、米良健太郎¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、
 中馬 豊²、川原元司³、松下茂人⁴、西 正行⁵ (¹鹿児島大、²同消化器
 外科、³同泌尿器科、⁴佐賀大形成外科、⁵始良郡)
 第2回南九州地区合同皮膚科地方会 (第137回鹿児島地方会)
 2004年7月10~11日 鹿児島市
- 39) ケナコルト AG 軟膏[®]による接触皮膚炎の一例
 米倉健太郎、持富勇次、大山公崇、吉田延代、金蔵拓郎、神崎 保
 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
 第34回日本皮膚アレルギー学会総会・学術大会
 2004年7月17~18日 富山
- 40) What is the Diagnosis? (Microcystic Adnexal Carcinoma of the Scalp)
 松下茂人他
 昭和大学形成外科皮膚腫瘍フォーラム with Prof. Martin C. Mihmm Jr
 2004年7月31日 東京
- 41) 表皮ケラチノサイトの分化とコレステロールスルフォトランス
 フェラーゼ
 東 裕子、福重智子、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
 第19回角化症研究会
 2004年8月7日 東京
- 42) インフルエンザ感染を機に皮疹が急速にかつ完全に消退した尋常性乾癬
 の1例
 藤元静代、東 裕子、米良健太郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院
 皮膚疾患学)
 第19回日本乾癬学会学術大会
 2004年9月4~5日 山形
- 43) 体幹・四肢に多発する小血管腫
 神崎 保他 (3/8)
 第68回日本皮膚科学会東部支部学術大会
 2004年10月3日 新潟

- 44) 電顕所見で診断確定した clear cell sarcoma の一例
米倉健太郎、軍神佳奈代、吉井典子、大山公崇、米良健太郎、
福重智子、内宮礼嗣、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚
疾患学)
第 31 回日本電顕皮膚生物学会学術大会
2004 年 10 月 8～9 日 霧島
- 45) Fabry 病ノックアウトマウスに対する酵素補充療法の光顕・電顕的検索
福重智子¹、神崎 保¹、小谷政晴²、桜庭 均² (¹鹿児島大学大学院
皮膚疾患学、²東京都臨床医学総合研究所)
第 31 回日本電顕皮膚生物学会学術大会
2004 年 10 月 8～9 日 霧島
- 46) 電顕的検索を行ったシアリドーシスの一例
出石知子¹、神崎 保¹、桜庭 均²、田島素子³、永木 茂³ (¹鹿児島
大学大学院皮膚疾患学、²東京都臨床医学総合研究所、³東京女子医科大
学小児科)
第 31 回日本電顕皮膚生物学会学術大会
2004 年 10 月 8～9 日 霧島
- 47) Fabry 病ノックアウトマウスに対する酵素補充療法の形態学的検索
福重智子¹、神崎 保¹、小谷政晴²、桜庭 均² (¹鹿児島大学大学院
皮膚疾患学、²東京都臨床医学総合研究所)
第 45 回日本組織細胞化学会総会・学術集会
2004 年 10 月 29～30 日 鹿児島
- 48) 本邦 16 例目のシアリドーシスの臨床的・電顕的検索
出石知子¹、神崎 保¹、桜庭 均²、田島素子³、永木 茂³ (¹鹿児島
大学大学院皮膚疾患学、²東京都臨床医学総合研究所、³東京女子医科大
学小児科)
第 45 回日本組織細胞化学会総会・学術集会
2004 年 10 月 29～30 日 鹿児島
- 49) もどし電顕により診断し得た clear cell sarcoma の一症例
軍神佳奈代、福重智子、米倉健太郎、吉井典子、大山公崇、
米良健太郎、内宮礼嗣、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚
疾患学)
第 45 回日本組織細胞化学会総会・学術集会
2004 年 10 月 29～30 日 鹿児島

- 50) リウマチ性多発筋痛症とバセドウ病を同時発症した1例
阿座上和子他
第267回日本内科学会九州地方会
2004年10月31日 宮崎
- 51) 頭部に発生した Microcystic adnexal carcinoma の一例
松下茂人他
第22回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会
2004年11月4~5日 東京
- 52) 口唇部悪性黒子切除後再建における transverse twist flap の試み
松下茂人他
第22回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会
2004年11月4~5日 東京
- 53) C型肝炎を合併した papular mucinosis の一例
寺崎健治朗、大山公崇、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第56回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2004年11月6~7日 久留米
- 54) Mycobacterium chelonae による皮膚非結核性好酸菌症の1例
岩田政宏¹、持富勇次¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、宮之原弘晃²
(¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²同検査部)
第56回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2004年11月6~7日 久留米
- 55) 好酸球性皮膚疾患に対するニコチン療法
金蔵拓郎、宇宿一成、米良健太郎、米良ゆかり、猿渡 浩、神崎 保
(鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第56回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2004年11月6~7日 久留米
- 56) 開口部形質細胞症にミノマイシンが著効した2例
藤元静代¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、島田辰彦¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²鹿児島市)
第56回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2004年11月6~7日 久留米

- 57) 全身性に生じた硬化性萎縮性苔癬の一例
川村絵里奈、米良ゆかり、藤元静代、内宮礼嗣、金蔵拓郎、神崎 保
(鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第 56 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2004 年 11 月 6～7 日 久留米
- 58) G-CAP 療法が著効したベーチェット病の 2 例
米良健太郎、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第 24 回日本アファレシス学会学術大会
2004 年 11 月 19～20 日 千葉
- 59) LDH 法を用いた薬剤の抗 bovine viral diarrhoea virus (BVDV) 活性測定
法の検討
馬場千晶^{1,2}、柳田恒一郎³、神崎 保²、馬場昌範¹ (¹鹿児島大学大学院
院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター、²同皮膚
疾患学、³旭化成ファーマ株式会社)
第 52 回日本ウイルス学会学術集会
2004 年 11 月 21～23 日 横浜
- 60) 難治性皮膚疾患に対する顆粒球吸着除去療法
金蔵拓郎
第 3 回好中球研究会
2004 年 11 月 26～27 日 京都
- 61) 原因としてトランサミン[®]が疑われた TEN 型薬疹の 1 例
中村郁代、持富勇次、橋口貴樹、米良健太郎、阿座上和子、神崎 保
(鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
第 29 回日本接触皮膚炎学会総会・学術大会
2004 年 11 月 27～28 日 名古屋
- 62) HHV-7 再活性化の関与が示唆された drug-induced hypersensitivity
syndrome (DIHS) の一症例
阿座上和子、武田浩一郎、三好逸男 (鹿児島市立病院)
第 29 回日本接触皮膚炎学会総会・学術大会
2004 年 11 月 27～28 日 名古屋
- 63) 化粧品による接触皮膚炎の 1 例
大山公崇、持富勇次、吉井典子、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学
大学院皮膚疾患学)
第 29 回日本接触皮膚炎学会総会・学術大会
2004 年 11 月 27～28 日 名古屋

- 64) 養鶏飼料による接触皮膚炎の1例
 坂元亮子、持富勇次、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚
 疾患学)
 第29回日本接触皮膚炎学会総会・学術大会
 2004年11月27～28日 名古屋
- 65) Trichothiodystrophy group A 一本邦第1例の分子遺伝学的解析
 中西伸夫¹、猿渡 浩²、森脇真一¹、王 春霞¹、清水信義³、
 神崎 保²、蓑島伸生¹ (¹浜松医大光量子医セ、²鹿児島大医学部皮膚
 科、³慶応大医学部分子生物)
 第27回日本分子生物学会年会
 2004年12月8～11日 神戸
- 66) *Microsporum canis* による全身性の皮膚真菌症の1例
 坂元亮子、米倉健太郎、寺崎健治朗、金蔵拓郎、神崎 保
 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
 第64回九州真菌懇話会
 2004年12月12日 鹿児島
- 67) 養鶏飼料による接触皮膚炎の1例
 坂元亮子、持富勇次、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚
 疾患学)
 第138回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004年12月12日 鹿児島
- 68) Reticular erythematous mucinosis (REM) の1例
 岩田政宏、猿渡 浩、東 裕子、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学
 大学院皮膚疾患学)
 第138回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004年12月12日 鹿児島
- 69) 下腿の硬結性紅斑を伴ったLDMF
 川村絵里奈¹、米良ゆかり¹、内宮礼嗣¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、
 具志明代² (¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²済生会川内病院皮膚科)
 第138回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004年12月12日 鹿児島
- 70) 酢酸リユープロレリンによる肉芽腫が疑われた1例
 児浦純義 (生)¹、渡辺照彦² (¹今給黎総合病院皮膚科、²同外科)
 第138回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004年12月12日 鹿児島

- 71) 【スライド供覧】最近経験した症例から
三好逸男、原田静代、武田浩一郎（鹿児島市立病院皮膚科）
第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 72) 2 回目のさい帯血移植にて生着が得られ完全寛解を維持している A T L
の一例
米倉健太郎^{1,2}、岩田政宏¹、徳永真弓⁴、小浜浩介³、竹内昇吾²、
高塚祥芝²、武元良整²、魚住公治⁴、宇都宮與²（¹鹿児島大学大学院
皮膚疾患学、²今村病院分院血液内科、³鹿大輸血部、⁴鹿大血液膠原病
内科）
第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 73) 皮膚に浸潤性病変を生じた多発性骨髄腫（IgA λ 型）の一例
米良健太郎¹、内宮礼嗣¹、川村絵里奈¹、金蔵拓郎¹、神崎 保¹、
徳永雅仁²、馬渡誠一²、池ノ上彩²（¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、
²同血液膠原病内科）
第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 74) 両足底に発症した Inflammatory Linear Verrucous Epidermal Nevus
（ILVEN）の成人例
武田浩一郎、三好逸男（鹿児島市立病院皮膚科）
第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 75) 頬筋粘膜弁を用いた下口唇悪性腫瘍切除の赤唇再建法
米良ゆかり¹、松下茂人²、内宮礼嗣¹、藤元静代¹、川村絵里菜¹、
金蔵拓郎¹、神崎 保¹（¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²佐賀大学
医学部形成外科）
第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 76) 【スライド供覧】基底細胞癌切除後の外鼻再建
松下茂人¹、上村哲司¹、田邊 毅¹、斉藤智一¹、三浦由宏²、
具志明代³、具志 亮⁴（¹佐賀大学医学部附属病院形成外科、²同皮膚
科、³済生会川内病院、川内市⁴）
第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2004 年 12 月 12 日 鹿児島

- 77) 保険診療 — 先生の御考えを教えてください —
 金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
 第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 78) 膿疱を呈したハンセン病の一例
 猿渡 浩¹、岩田政宏¹、寺崎健治朗¹、神崎 保¹、久保秀徳²
 (¹鹿児島大学大学院皮膚疾患学、²鹿児島市)
 第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 79) LDH 法を用いた薬剤の抗 bovine viral diarrhoea virus (BVDV) 活性測定法の検討
 馬場千晶^{1,2}、柳田恒一郎³、神崎 保²、馬場昌範¹ (¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター、²同皮膚疾患学、³旭化成ファーマ株式会社)
 第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2004 年 12 月 12 日 鹿児島
- 80) 頸部にみられた Mondor 病の一例
 米良健太郎、持富勇次、寺崎健治朗、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
 第 28 回皮膚脈管・膠原病研究会
 2005 年 1 月 27~28 日 東京
- 81) overlap syndrome の経過中に乾癬様皮疹を認めた 1 例
 米良ゆかり、米良健太郎、橋口貴樹、吉井典子、金蔵拓郎、神崎 保 (鹿児島大学大学院皮膚疾患学)
 第 28 回皮膚脈管・膠原病研究会
 2005 年 1 月 27~28 日 東京
- 82) 2 回目のさい帯血移植にて生着が得られ完全寛解を維持している ATL の一例
 米倉健太郎^{1,2}、小浜浩介³、徳永真弓⁴、辻 寧子¹、竹内昇吾¹、高塚祥芝¹、武元良整¹、魚住公治⁴、宇都宮與¹ (¹今村病院分院血液内科、²鹿児島大学大学院皮膚疾患学、³同輸血部、⁴同血液膠原病内科)
 第 20 回鹿児島血液研究会
 2005 年 2 月 12 日 鹿児島

VI. 社会への貢献（マスメディア等）

【国際協力事業団】

- 1) Diploma course of dermatology
神崎 保
Thailand, Bangkok (2004年11月29日～12月10日滞在)

【テレビ】

- 1) 「子供の紫外線対策」
神崎 保
KKB 鹿児島放送『コープでQ』(2004年5月15日放送)
- 2) 「宮古発驚異の生命草 ビテンス・ピローサ」
金蔵拓郎
琉球放送 (2004年10月30日放送)
- 3) 「冬の肌のトラブル」
神崎 保
KKB 鹿児島放送『コープでQ』(2005年1月29日放送)

【ラジオ】

- 1) 「紫外線と皮膚」
神崎 保
MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク（第1回）』
(2004年5月20日放送)
- 2) 「紫外線と皮膚」
神崎 保
MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク（第2回）』
(2004年7月3日放送)
- 3) 「紫外線と皮膚」
神崎 保
MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク（第3回）』
(2004年7月10日放送)

- 4) 「冬の Skin Care」
神崎 保
MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク（第1回）』
(2004年12月18日放送)
- 5) 「冬の Skin Care」
神崎 保
MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク（第2回）』
(2004年12月25日放送)
- 6) 「冬の Skin Care」
神崎 保
MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク（第3回）』
(2005年1月8日放送)
- 7) 「乾燥肌対策」
金蔵拓郎
MBC ラジオ『さきがけお天気塾』（2005年1月9日放送）
- 8) 「日焼けのメカニズム」
金蔵拓郎
MBC ラジオ『さきがけお天気塾』（2005年1月16日放送）

【新 聞】

- 1) 「爪水虫のパルス療法」
神崎 保
サンケイリビング新聞社『リビング鹿児島』（2004年5月20日掲載）
- 2) 「大人はどうして年をとるたびに白髪が増えていくの？」
金蔵拓郎
南日本新聞『何でも質問隊』（2004年5月22日掲載）
- 3) 「宮古ビテンス・ピローサでしま興し講演会」
金蔵拓郎
沖縄タイムス（2004年10月29日掲載）
- 4) 「白なまず」
東 裕子
南日本新聞『紙上診察室』（2004年10月13日掲載）

5) 「わきが」

米良ゆかり

南日本新聞『紙上診察室』(2004年9月15日掲載)

VII. 学会・講演会などの開催

【学 会】

- 1) 第 136 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2004 年 4 月 25 日
- 1) 第 2 回日本皮膚科学会南九州地方会
(兼第 137 回日本皮膚科学会鹿児島地方会)
ホテルレクストン鹿児島 (鹿児島市) 2004 年 7 月 10~11 日
- 3) 南九州腫瘍研究会第 7 回学術集会 (当番世話人)
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2004 年 9 月 9 日
- 4) 第 31 回日本電顕皮膚生物学会学術大会
霧島ホテル 2004 年 10 月 8~9 日
- 5) 第 138 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
城山観光ホテル「鳳凰の間」 2004 年 12 月 12 日

【学術講演会】

- 1) 小川秀興 (順天堂大学理事長・学長)「水虫の最近の話題」
(共催) ハルティスファーマ株式会社[臨時講演会]
2004 年 4 月 21 日
- 2) 橋本 健 (ウェイン州立大学名誉教授)「レーザー脱毛」
(共催) ハルティスファーマ株式会社[臨時講演会]
2004 年 4 月 21 日
- 3) 船坂陽子 (神戸大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学)
「理論に基づいた美容皮膚科学の実践」
(共催) 鳥居薬品株式会社[第 8 回鹿児島皮膚疾患の治療を語る会]
2004 年 6 月 24 日
- 4) 馬場昌範 (鹿児島大学大学院難治ウイルス病態制御学教授)
「ナノ粒子を用いた抗レトロウイルスワクチンの開発研究」
(共催) 日本シェリング社[第 16 回鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会]
2004 年 7 月 10 日

- 5) 古江増隆 (九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野教授)
「アトピー性皮膚炎のための保湿外用薬の使い方」
(共催) マルホ株式会社[鹿児島県皮膚科医部会]
2004年9月1日
- 6) 錦織千佳子 (神戸大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教授)
「紫外線発癌のメカニズム」
(主催) 南九州腫瘍研究会[南九州腫瘍研究会第7回学術集会]
2004年9月9日
- 7) 小川秀興 (順天堂大学理事長・学長)
「アトピー性皮膚炎におけるバリアー機構とダニ、カンジダ抗原の意義」
(共催) 協和醗酵工業株式会社[第11回鹿児島地区皮膚アレルギー研究会]
2004年12月12日
- 8) 坪井良治 (東京医科大学医学部皮膚科教授)「褥瘡・慢性皮膚潰瘍の治療」
(共催) 科研製薬株式会社[第142回鹿児島県皮膚科医部会学術講演会]
2005年1月21日

VIII. 学会活動

〈神崎 保〉

- ・ 日本皮膚科学会 (理事・学会賞等担当)
- ・ " (代議員)
- ・ " (西部支部運営委員会委員)
- ・ " (鹿児島地方会会長)
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会 (理事)
- ・ 日本接触皮膚炎学会 (理事)
- ・ 日本乾癬学会 (理事)
- ・ 皮膚電顕生物学会 (理事)
- ・ 日本研究皮膚科学会 (評議員)
- ・ 日本皮膚アレルギー学会 (評議員)
- ・ 皮膚膠原病研究会・脈管懇話会 (評議員)
- ・ 毛髪科学研究会 (世話人)
- ・ 太陽紫外線防御研究委員会 (委員)
- ・ 光老化研究会 (世話人)
- ・ 米国皮膚科学会[AAD] (会員)
- ・ 米国研究皮膚科学会[SID] (会員)
- ・ 米国癌学会[AARC] (会員)
- ・ 米国臨床医学研究学会[AMCR] (会員)
- ・ 日本臨床皮膚科医会 (会員)
- ・ 鹿児島ヘルペスウイルス等感染研究会 (世話人)
- ・ 鹿児島漢方研究会 (世話人)
- ・ 鹿児島アレルギー研究会 (世話人)
- ・ 鹿児島 STD 研究会 (世話人)
- ・ 鹿児島血栓研究会 (世話人)
- ・ 南九州腫瘍研究会 (代表世話人)
- ・ 鹿児島救急医学会 (評議員)
- ・ 第 20 回日本皮膚悪性腫瘍学会プログラム委員
- ・ 日本職業・環境アレルギー学会 (評議員)
- ・ Advisory Board (J.Dermatol., J. Environ. Dermatol.)
- ・ Journal Reviewer : Hum. Genet. / J. Dermatol. / J. Environ. Dermatol.

<金蔵拓郎>

- 日本研究皮膚科学会（評議員）
- 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- 日本皮膚科学会（西部支部代議員）
- 米国研究皮膚科学会
- 日本生化学会
- 日本アレルギー学会
- 日本リウマチ学会
- 日本形成外科学会九州地方会
- 伊豆カンファレンス（皮膚免疫に関する研究会）会員
- 日本リンパ網内系学会
- 九州白血球除去療法研究会（幹事）
- 日本熱傷学会九州地方会
- 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- Journal Reviewer : J. Dermatol. (3本) / 西日本皮膚科 /
日本皮膚アレルギー学会雑誌

IX. 学内活動

<神崎 保>

- ・副医学部長（2004. 5. 1～2005. 1. 31）
- ・医学部親和会（理事）
- ・鹿児島大学医学会評議員
- ・鹿児島大学発明委員会委員
- ・大学院研究科委員
- ・医学科教授会委員
- ・大学病院運営協議会委員
- ・医学部予算配分委員会委員
- ・医学科予算配分部会（部会長）
- ・医学部カリキュラム委員
- ・大学病院治験薬等審査委員
- ・大学病院企画・予算委員会委員
- ・医療事故分析専門委員会委員
- ・医療事故調査専門委員会委員
- ・高度医療推進委員会委員
- ・大学病院輸血部運営委員会委員
- ・医学部生命に関する倫理委員会委員
- ・医学部遺伝子研究に関する倫理委員会委員
- ・学位審査員
- ・（財）新和会（評議員）
- ・医学科保健学科連絡協議会委員（2004. 2. 1～4. 30）
- ・鹿児島大学皮膚疾患学物品使用責任者

<金蔵拓郎>

- ・医学部共同利用研究棟運営委員
- ・独法化後の業務遂行体制を検討するためのワーキンググループ副議長
- ・総合カリキュラム「皮膚系」コーディネーター
- ・教員の評価に関する制度検討委員会委員
- ・研究フォーラム・インフォメーションオフィスメンバー
- ・平成17年度医学部医学科個別学力検査面接員
- ・学生講義[皮膚科のまとめ（2004. 9. 16. : M4）]
- ・ 〃 [強皮症と膠原病の皮膚病変（2004. 9. 17. : M4）]
- ・ 〃 [皮膚の発生（2004. 11. 16. : M1）]
- ・ 〃 [強皮症と膠原病の皮膚病変（2005. 1. 18. : M3）]
- ・ 〃 [皮膚科のまとめ（2005. 2. 1. : M3）]
- ・大学院共通コアカリキュラム講義[科学英語 臨床英語入門（2004. 11. 10.）]

<寺崎健治朗>

- ・医学部教官会議代議員
- ・医系教官会議研究科感觉器病学講座代議員
- ・学生講義【歯学部】[物理化学的皮膚障害・蕁疹 (2004. 5. 17 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[皮膚感染症 (2004. 6. 18 : M3)]
- ・ 〃 【医学部】[感染臨床 4 チュートリアルコーデ^ィネーター (2004. 6. 18 : M3)]
- ・ 〃 【医学部】[感染臨床 4 チュートリアルコーデ^ィネーター (2004. 6. 21 : M3)]
- ・ 〃 【医学部】[発疹学・診断学 (2004. 9. 9 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[感染臨床 4 チュートリアルコーデ^ィネーター (2004. 11. 16 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[発疹学・診断学 (2005. 1. 20 : M3)]

<東 裕子>

- ・組換え DNA 実験安全委員
- ・学生講義【歯学部】[角化症・水疱症・膿疱症 (2004. 5. 10 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[乾癬・水疱症 (2004. 10. 4 : M6)]

<内宮礼嗣>

- ・輸血療法委員会委員
- ・リスクマネージャー
- ・学生講義【歯学部】[膠原病 (2004. 5. 24 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[皮膚の検査・治療 (2004. 9. 16 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[皮膚の検査・治療 (2005. 1. 20 : M3)]
- ・ACLS 講習会インストラクター (2004. 10. 28)

<持富勇次>

- ・学生講義【歯学部】[総論(発疹・検査・治療)/アレルギー^ィ性皮膚疾患 (2004. 4. 19 : M4)]
- ・ 〃 【歯学部】[紅斑・紫斑・血行障害 (2004. 4. 26 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[湿疹・皮膚炎 (2004. 9. 6 : M6)]
- ・ 〃 【医学部】[アレルギー系『皮膚疾患』 (2004. 9. 30 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[湿疹・皮膚炎 (2005. 1. 25 : M3)]
- ・ 〃 【医学部】[発疹学・診断学 (2004. 9. 9 : M3)]
- ・ 〃 【医学部】[膠原病系『皮膚疾患』 (2005. 1. 27 : M3)]
- ・ 〃 【保健学科】(2004. 7. 6, 13, 20)

<吉井典子>

- ・学生講義【歯学部】[皮膚腫瘍 (2004. 5. 31 : M4)]
- ・ 〃 【医学部】[腫瘍 (2004. 8. 23 : M6)]
- ・ 〃 【医学部】[皮膚腫瘍 (2005. 1. 25 : M3)]
- ・ 〃 【教育学部】[がんはなぜできるのか (2004. 7. 15)]
- ・ 〃 【医学部】[感染臨床 4 チュートリアルコーデ^ィネーター (2004. 7. 20 : M4)]

<米良ゆかり>

- ・ 学生講義【歯学部】 [感染症 (2004. 6. 7 : M4)]
- ・ " 【医学部】 [麻酔・救急・集中治療 (2004. 10. 12 : M4)]
- ・ " 【医学部】 [感染症 (2004. 11. 15 : M4)]

<馬場千晶>

- ・ 医学研究科講義 [LDH 法を用いた薬剤の抗 bovine viral diarrheavirus (BVDV) 活性測定法の検討 (2005. 1. 24)]

<吉田延代>

- ・ 医学研究科講義 [ヒトテンズ・ピロサの COX-2 発現に対する効果 (2005. 1. 24)]

<福重智子>

- ・ 医学研究科講義 [ヒト正常皮膚と皮膚腫瘍における XV 型コラーゲンと IV 型コラーゲンの局在の免疫組織学的検討 (2005. 1. 24)]

X. 社会活動

<神崎 保>

- ・ 日本医師会鹿児島県理事（生涯教育担当）
- ・ 日本医師会県医勤務医委員会（副担当理事）
- ・ 鹿児島県勤務医師生活共同組合（副理事長）
- ・ 日本医師会県医教育委員会副委員長
- ・ 県医師会報編集副委員長（広報担当・副担当理事）
- ・ 県医師会医療情報システム副委員長（医療情報システム・副担当理事）
- ・ 鹿児島大学医師会理事
- ・ 講師（宮崎大学医学部）
- ・ 国際協力事業団[JICA]専門家（Thailand）
- ・ カネミ油症治療研究班
- ・ 鹿児島県特定疾患認定審査員（重症度判定委員）
- ・ 鹿児島県 ATL 制圧委員会委員（副委員長）
- ・ 鹿児島県難病対策協議会委員
- ・ 鹿児島県巡回離島診療
- ・ 鹿児島県 JICA 派遣専門家連絡会実行委員

<金蔵拓郎>

- ・ 鹿児島県国民健康保険診療報酬審査委員
- ・ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員

XI. 文部省科学研究費等取得

- 1) 『Basigin (CD147) の悪性黒色腫の浸潤・転移に果たす役割に関する研究』
金蔵拓郎 (代表) 基盤研究 (C) (2) : 80 万円 [H16 年度分]
- 2) 『平成 16 年度鹿児島県特定疾患研究』
委託費 : 73, 595 円
- 3) 『眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科に関する調査研究』
平成 16 年度受託研究費 (産学連携等研究経費) : 384, 616 円
- 4) 『難治性皮膚疾患における新しい治療法の開発』
金蔵拓郎 (代表) 日本抗体研究所 (共同研究契約) 奨学寄付金 : 100 万円
- 5) 『難治性皮膚疾患に対するカンポウ茶の効果』
金蔵拓郎 (代表) 武蔵野免疫研究所 奨学寄付金 : 50 万円・80 万円
- 6) 久保皮膚科 奨学研究費 : 20 万円
- 7) 米良皮膚科 奨学研究費 : 100 万円

XII. 特 許

- 1) 『免疫組織化学的染色による抗原の検出方法』 (特許出願 2003-366044)
神崎 保 (共同) 【公開日】 2004 年 9 月 30 日
- 2) 『免疫組織化学的染色方法による抗原の検出方法』 (特許出願 2003-183193)
神崎 保 (共同) 【公開日】 2005 年 1 月 20 日

XIII. 賞 罰

- 【第 18 回安田・阪本記念賞】 神崎 保 [2004 年 12 月 4 日授与]
- 【皆見紀久男賞】 金蔵拓郎 [2004 年 12 月 15 日授与]
- 【神崎賞】 寺崎健治朗・猿渡 浩 [2004 年 12 月 15 日授与]

XIV. 学位取得者

- 1) 『Negative Feedback Regulation of Phosphatidylinositol 3-kinase/Akt Pathway by Over-expressed Cyclooxygenase-2 in Human Epidermal Cancer Cells』
(ヒト表皮癌細胞において、過剰に発現した COX-2 は、PI3-kinase/Akt 経路を negative feedback mechanism によって制御している)
J. Dermatol. 31(7) : 516-523 (2004. 7)

武田浩一郎：医研第 570 号 博士（医学）[平成 16 年 9 月 21 日授与]

- 2) 『Beneficial effects of tissue inhibitor of metalloproteinases-2 (TIMP-2) on chronic dermatitis』
(TIMP-2 の慢性皮膚炎における治療効果について)
J. Dermatol. 2005 年掲載予定

三好逸男：医論第 1409 号 博士（医学）[平成 17 年 3 月 17 日授与]

- 3) 『Detection and sequences of Human Papillomavirus DNA in nongenital seborrhoeic keratosis of immunopotent individuals』
(ヒト正常皮膚と皮膚腫瘍における XV 型コラーゲンと IV 型コラーゲンの局在の免疫組織学的検討)
J. Dermatol. 32(2) : 74-83 (2005. 2)

福重智子：医研第 577 号 博士（医学）[平成 17 年 3 月 25 日授与]

XV. 専門医取得者

谷 暁子

植木ゆり

XVI. 教室員の動向

【医局長】寺崎健治朗 【病棟医長】内宮礼嗣 【外来医長】吉井典子(4-6月)
東 裕子(7月以降)

【外国留学】ナ シ

【国内留学】松下 茂 人：佐賀大学医学部形成外科 (2004年4月～2005年3月)
米倉健太郎：今村病院分院血液内科 (2004年7月～)

【外国人留学生】ナ シ

【出向者】

三好逸男：鹿児島市立病院	橋口貴樹：県立大島病院
武田浩一郎：鹿児島市立病院	具志明代：済生会川内病院
川畑久：藤元早鈴病院	植木ゆり：春陽会中央病院
児浦純義(生)：今給黎病院	

【研修先】

中村郁代：鹿児島市立病院形成外科 (2004年1月～2004年6月末迄)
米良健太郎：鹿児島市立病院皮膚科 (2004年1月～)
阿座上和子：鹿児島市立病院皮膚科 (2004年1月～2004年6月末迄)
〃 内科 (2004年7月～2004年12月末迄)
久保秀通：北里大学麻酔科 (2004年4月～2005年3月末迄)
坂元亮子：今村病院分院総合内科 (2004年1月～2004年6月末迄)

【退局者】

寺崎健治朗：(2005年3月末迄在局) 開業 (寺崎皮膚科)
川畑久：(2005年3月末迄在局)
具志明代：(2005年3月末迄在局) 開業 (具志ひふ科クリニック)
谷 暁子：(2004年12月中旬迄在局)

【産休・育児休暇】島田祥子 吉福明日香 原田静代 坂口郁代

【外国人帰国者】ナ シ

【新入医局員】ナ シ

【退職者】ナ シ

【新規就職者】ナ シ